

## 第2回碧南市まなびさぽーと資金支給審査会 会議録

日時

平成30年10月17日（水）午前9時50分～午前10時28分

場所

碧南市役所5階 教育委員会室

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 碧南高等学校長 坪井基紀、碧南市主任児童委員代表 鈴木政枝、西端中学校PTAの女性代表 森 民美、新川中学校長 角谷竹虎、中央中学校長 小島真由子、学校教育課長 鈴木 裕
- (2) 欠席者 なし
- (3) 事務局職員 教育長 生田弘幸、教育部長 奥谷直人、庶務課長 村松幸雄、庶務課係長 鈴木好美、庶務課主事 岩田晃宏

傍聴者 0人

会議内容

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
  - (1) 平成30年度まなびさぽーと中学生の認定について
  - (2) 平成30年度まなびさぽーと中学生の表彰式について
- 5 その他
- 6 閉会

議事の要旨

- 1 開会  
開会を宣言。
- 2 教育長あいさつ  
(教育長のあいさつ)
- 3 会長あいさつ

(会長のあいさつ)

#### 4 議題

(1) 平成30年度まなびさぼーと中学生の認定について

事務局から資料1により募集要領の説明。

選考委員長から選考方法、選考理由及び応募状況等の報告。

<意見・質疑>

会 長：それでは、内容の検討に入る前に先ほど説明いただいた選考方法について、なにかご質問等ありますでしょうか。

各委員：ありません。

会 長：それでは、内容についてまず、最優秀賞、優秀賞、準優秀賞の作品を並べていただきました。この3点について、ご質問等ありますでしょうか。

委 員：たくさんの作品が出ていて、丁寧にしっかりやっていると感じておりました。選考理由を読ませていただくと、仮説と異なる結果から実験装置の不備を見つけ出し、改善していったところが秀逸であると評価していただいていることに感心しました。ノーベル賞受賞においても、科学的な研究を繰り返すことや実験を改善しながら行っていく姿勢が大きな成果に繋がっていると思うとこの姿勢を評価していただいていることに感動しています。

会 長：ありがとうございます。他にありますか。

委 員：テーマを決め研究していき、仮説を立てて、次へと繋がっていくこと、さらに、3年間続けていくということは、これまであまりなかったことであり、新川中学校の生徒を見ているとこのような生徒が少し出てきたなという印象を持ちました。まさに、この評価コメントでアドバイスを頂いたことが、次の実験の推進力になることと考えられるため、生徒へ伝えていきたいと思いました。

会 長：ありがとうございました。それでは他の委員にも意見を伺いたいと思います。

委 員：実際に、家で自分も花を切って挿し木などをするのですが、失敗したら終わり、その先は考えず終わるところをこの最優秀賞の生徒は試行錯誤を続け、他の優秀賞の生徒も観察しながら実験を続けていることにすばらしいと思いました。

委 員：選ばれる生徒の着眼点が良いなと作品を見て改めて思いました。細かいところの追究や写真の使い方も素晴らしいと思いました。

委 員：毎年、理科の先生を中心に生徒達に投げかけ、本当にたくさんの作品の中で選ば

れていることに、作品を見ると感動する思いでいっぱいです。日常の中からテーマを探し、研究テーマも最優秀賞の子については、このまま社会に役立つようなテーマであるなと思いました。また、作品から研究の過程を見ると改めて素晴らしいなと思いました。今後とも、科学の芽を養えるような生徒の育成に励んでいきたいなと思います。

会長：ありがとうございました。各委員からコメントを頂きました。私も上位3点を見させていただきまして、テーマ設定の仕方から、研究過程を見るに上位3賞に相応しいと思います。各賞について、承認して頂けるということによろしいでしょうか。

委員全員：＜異議なし＞

審議の結果、承認された。

(2) 平成30年度まなびさぼーと中学生の表彰式について

事務局から資料2により説明。

＜意見・質疑なし＞

審議の結果、承認された。

8 その他

9 閉会

閉会を宣言。